

平成 29 年度 事業 報告 書

公益財団法人福岡県下水道管理センターは、福岡県の流域下水道施設の維持管理業務の受託のほか、下水道技術の調査研究及び下水道知識の普及・啓発を図るなど、県及び市町村が実施する下水道に関する施策に協力し、もって県民の健康で快適な居住環境の創出と公共用水域の水質の保全に寄与するため、次の事業を行った。

1 福岡県流域下水道施設の維持及び保守業務

(1) 流域下水道の名称、終末処理場の位置及び処理区域

名 称	終末処理場の位置	処 理 区 域
御笠川那珂川流域下水道	福岡市博多区	福岡市(博多区及び南区)、筑紫野市、春日市、大野城市、太宰府市、筑紫郡那珂川町
宝満川流域下水道	小 郡 市	小郡市、筑紫野市
多々良川流域下水道	粕 屋 町	糟屋郡宇美町、篠栗町、志免町、須恵町、久山町及び粕屋町
宝満川上流流域下水道	小 郡 市	筑紫野市、太宰府市、朝倉郡筑前町、基山町(佐賀県)
遠賀川下流流域下水道	中 間 市	中間市、遠賀郡水巻町及び遠賀町、鞍手郡鞍手町
筑後川中流右岸流域下水道	小 郡 市	小郡市、朝倉市、三井郡大刀洗町
矢部川流域下水道	筑 後 市	八女市、筑後市、みやま市、八女郡広川町
遠賀川中流流域下水道	直 方 市	直方市、宮若市、鞍手郡小竹町

(2) 業務の対象となる施設

- ア 御笠川浄化センター
- イ 宝満川浄化センター
- ウ 多々良川浄化センター
- エ 遠賀川下流浄化センター
- オ 福童浄化センター

- カ 矢部川浄化センター
- キ 遠賀川中流浄化センター
- ク 力武ポンプ場
- ケ 馬市ポンプ場
- コ 須恵ポンプ場
- サ 久山ポンプ場
- シ 下山田ポンプ場
- ス 宝満川上流ポンプ場
- セ 朝日中継ポンプ場
- ソ 蓮花寺中継ポンプ場
- タ 遠賀中継ポンプ場
- チ 瀬高ポンプ場
- ツ 龍徳ポンプ場
- テ 感田中継ポンプ場
- ト 勝野ポンプ場

(3) 業務の内容

- ア 流域下水道施設の維持管理（点検・修繕含む。）
- イ 流入下水・放流水及び汚泥の検査分析
- ウ 御笠川浄化センター屋上広場の維持管理
- エ 流域下水道維持管理年報の作成、その他管理記録の整備
- オ 幹線管渠の巡視点検
- カ その他

(4) 施設の現況（平成 29 年度）

施設名	処理能力水量 (1日当たり m ³)	流入水量 (1日当たり m ³)	備考
御笠川浄化センター	295,800	192,853	流入水量合計 (29年4月～30年3月) 70,391,508 m ³
宝満川浄化センター	39,200	23,114	流入水量合計 (29年4月～30年3月) 8,436,641 m ³ うち 宝満川 4,991,952 m ³ うち 宝満川上流 3,444,689 m ³
多々良川浄化センター	61,750	44,194	流入水量合計 (29年4月～30年3月) 16,130,722 m ³
遠賀川下流浄化センター	28,000	17,026	流入水量合計 (29年4月～30年3月) 6,214,602 m ³
福童浄化センター	27,000	15,578	流入水量合計 (29年4月～30年3月) 5,686,087 m ³
矢部川浄化センター	19,200	9,779	流入水量合計 (29年4月～30年3月) 3,569,280 m ³
遠賀川中流浄化センター	4,700	3,823	流入水量合計 (29年4月～30年3月) 1,395,414 m ³

2 福岡県流域下水道に関する管理センター自主事業の実施

福岡県流域下水道の管理及び運営の委託を受けて実施した1の(3)の受託業務のほか、次のような事業を実施した。

(1) 流域関連公共下水道の流入下水に関する事業

計量証明事業

(2) 下水道についての知識の普及及び啓発に関する事業

ア 浄化センター施設見学者への説明、案内、リーフレット作成等

一般、団体、学生等来所（御笠川 15 回 464 人・宝満川 13 回 467 人・多々良川 5 回 405 人・遠賀川下流 8 回 132 人・福童 9 回 276 人・矢部川 9 回 196 人・遠賀川中流 4 回 29 人）

イ 下水道整備促進のための広報活動等

区 分	実 施 状 況
下水道の日（9月10日） （週間9月7日～9月13日）	浄化センターに広報用のぼりの設置、施設の案内、ビデオ放映、コンポスの配付
下水道展（9月10日）	開催場所 宝満川浄化センター・福童浄化センター 多々良川浄化センター・矢部川浄化センター・遠賀川中流 浄化センター

ウ 小学生作文コンクールの実施（第28回） 理事長賞1点 金賞4点 銀賞7点 銅賞16点 入選4点 佳作10点を表彰

(3) 下水道についての技術の調査及び研究に関する事業

ア 日本下水道協会等の各種研修会、講習会等に参加、情報収集

イ 全国下水道公社連絡協議会の研修会に参加（共通課題の調査検討）

ウ 処理水及び汚泥等下水道資源の再利用についての調査研究